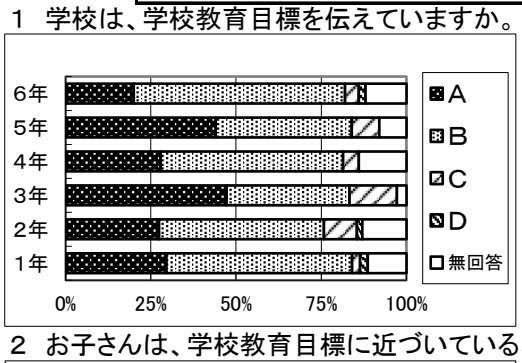
令和2年度　黒浜南小学校の教育に関する保護者アンケート（集計結果）

A　たいへんよくできている・強くそう思う　　C　あまりできていない・あまりそう思わない
B　できている・そう思う　　D　できていない・改善したい

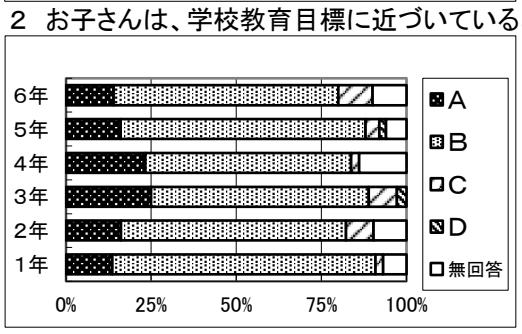
回収率
９４．４１％
前年度比３．６％増

1　学校は、学校教育目標を伝えていますか。



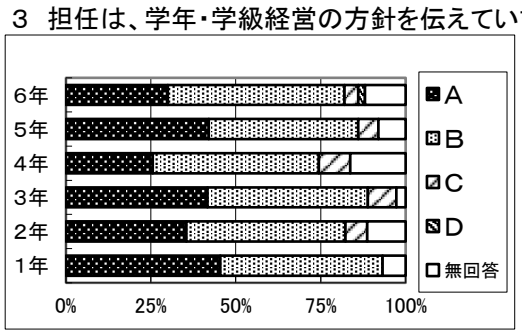
学校教育目標は、「かしこい子（やる気・気づき）、なかよくできる子（思いやり・温かさ）、たくましい子（感じのいいあいさつ）」です。今後も機会あるごとに伝え、知・徳・体のバランスよく、生きる力を育みます。

2　お子さんは、学校教育目標に近づいていると思いますか。



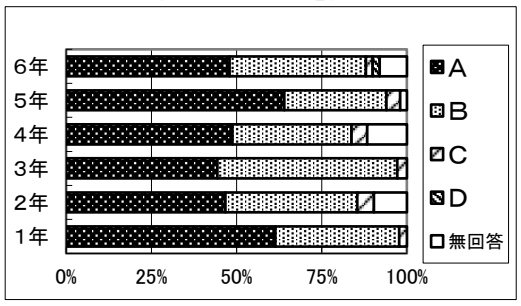
達成感が実感できるように具現化を図り、家庭・地域と協力して、一層の成果が上がるよう教育活動の改善に努めます。学年・学級目標と有機的に関連づけながら取り組みます。

3　担任は、学年・学級経営の方針を伝えていますか。



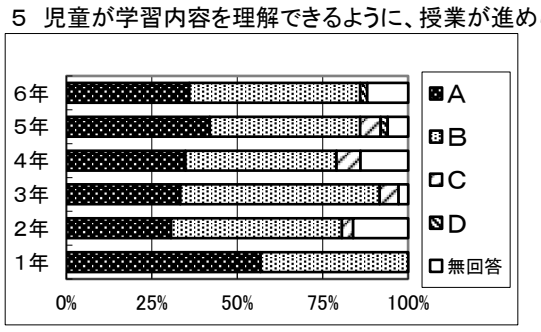
学年・学級の方針については、懇談会・シラバス・学年だより・毎週の予定表などで、機会あるごとに伝えます。共通理解・同一歩調、協働して、児童の成長を支援しましょう。

4　お子さんは、いじめや差別を受けることなく楽しく通学していると思いますか。



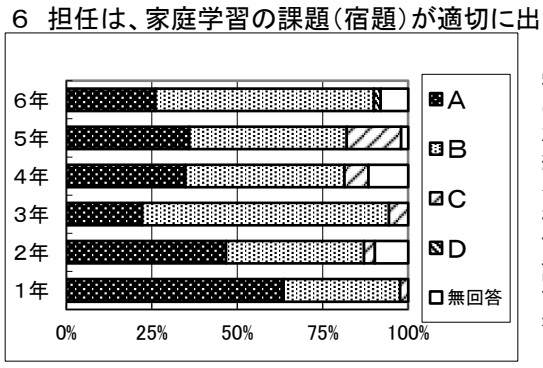
居場所のある学級づくりに全力を尽くします。また、学校応援団や地域の皆様のご協力を得て、学ぶ喜び・共に活動する楽しさを味わえるよう、魅力ある学校づくりに努めます。

5　児童が学習内容を理解できるように、授業が進められていると思いますか。



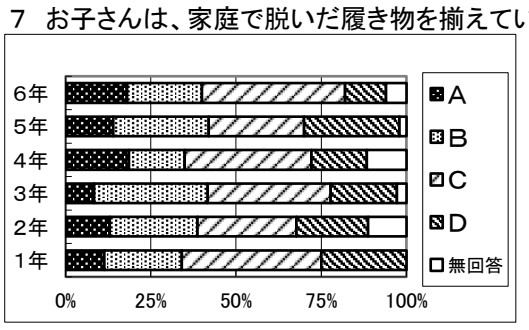
学力向上に向け、「わかった・できた」喜びを味わう授業を目指し、様々な工夫改善を続けます。基礎・基本の習熟と主体的・対話的で深い学びを実現する授業、そして思考力・判断力・表現力等の育成に重点を置いて、学習を進めます。

6　担任は、家庭学習の課題（宿題）が適切に出していると思いますか。



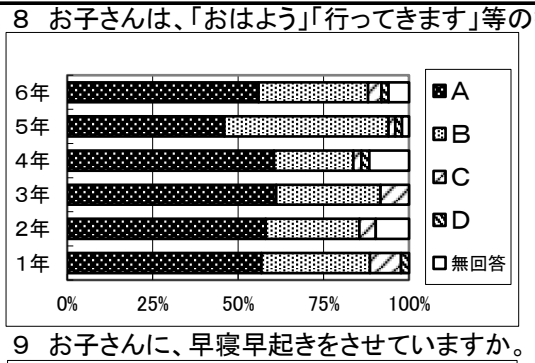
学力向上には家庭学習の充実が不可欠です。計算・漢字ドリルの繰り返し練習や、音読・読書、eライブラリなどに家庭と連携して取り組んでいます。児童の実態に即した課題設定をしています。また、「読書貯金」にも力を入れています。

7　お子さんは、家庭で脱いだ履き物を揃えていますか。



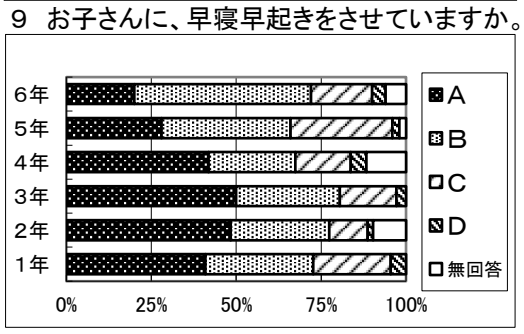
12月の生活目標「くつのかかとをそろえよう」では、重点的に指導して、校内では良好な状態です。ご家庭での躾（しつけ）も大切です。さらに成果が得られるよう、ご協力をお願いいたします。

8　お子さんは、「おはよう」「行ってきます」等の挨拶ができていますか。



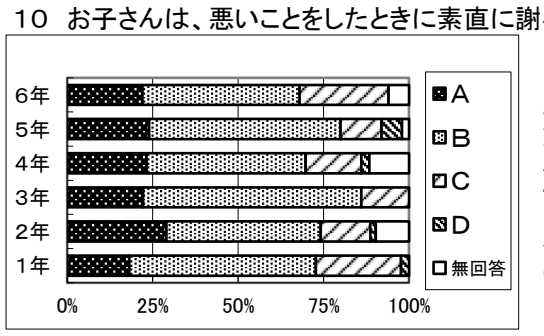
「登下校交通安全指導」へのご協力、ありがとうございます。挨拶の声が響くようになってきましたが、明るさ、元気さには個人差があります。引き続き重点を置いていきます。「いってきます」「ありがとうございます」など地域でも気持ちのよいあいさつをしましょう。

9　お子さんに、早寝早起きをさせていますか。



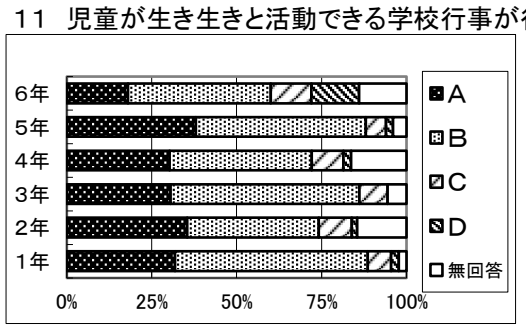
生活リズムの乱れが学力・体力の低下につながります。ゲーム・テレビ・携帯電話はご家庭での約束を確認し、使用させてください。朝は自分で起きるなど、自立・自律をうながす声かけをお願いいたします。

10　お子さんは、悪いことをしたときに素直に謝ることができますか。



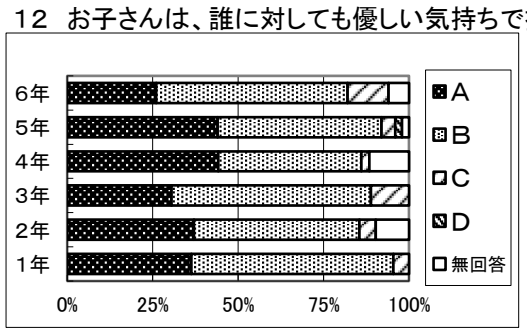
自分の非を認める素直な心が人との良好な関係を築きます。連携して、「ごめんなさい」と素直に言える子を育てていきましょう。自分の行動を振り返り、反省しながら向上できる児童の育成を目指します。

11　児童が生き生きと活動できる学校行事が行われていると思いますか。



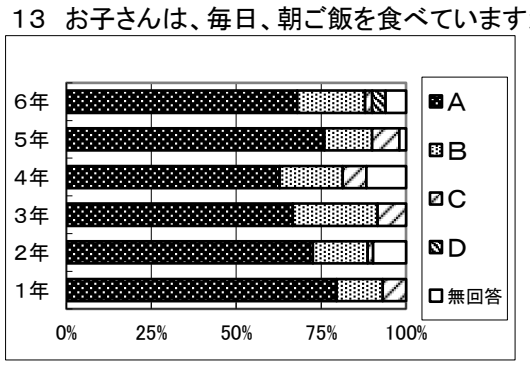
今年度はコロナ禍で様々な行事が削減・縮小となりました。その中で、できることを行い、縦割り班活動や様々な体験活動の充実が、功を奏しています。保護者や学校応援団の方々と連携・協働しながら、これからも学校行事の充実・改善に努めます。

12　お子さんは、誰に対しても優しい気持ちで接することができていますか。



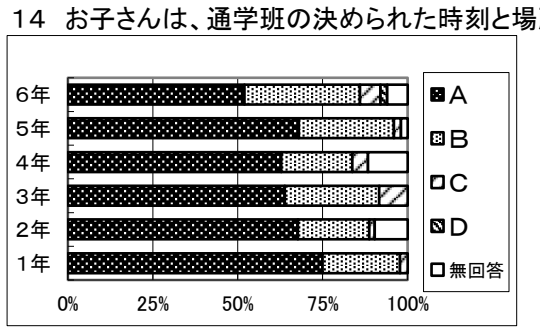
友達と仲よく生活できることが集団生活の第一歩です。相手のことを考えて行動したり、声かけしたりすることで、互いの関係がよくなり、自分も相手も心が温かくなります。今後も「いじめゼロ」を合言葉に、取り組みます。

13　お子さんは、毎日、朝ご飯を食べていますか。



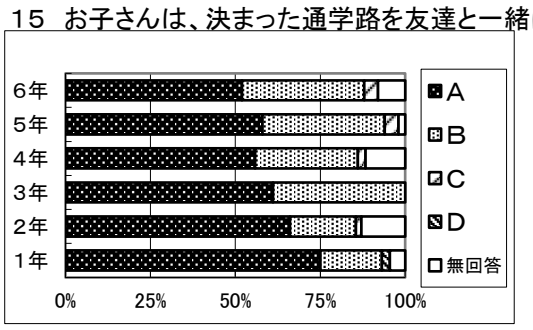
引き続き「早寝 早起き 朝ご飯 朝うんち」の励行をお願いいたします。朝食をきちんと食べている子供は、学習意欲・学習効果が高いという調査結果もあります。欠食の多い子供は体のだるさを感じています。午前中のエネルギーを朝食でしっかり摂らせてください。

14　お子さんは、通学班の決められた時刻と場所に集合できていますか。



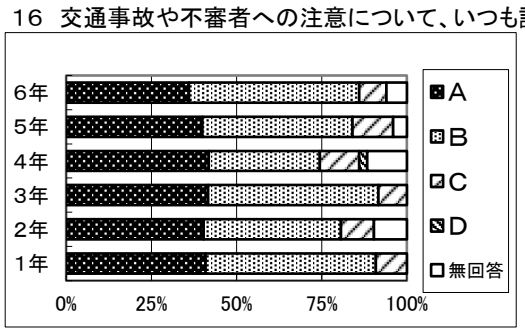
PTAの登校安全指導、学校応援団や交通指導員のご協力により、安全な登下校に最大限のご配慮をしていただいています。ありがとうございます。引き続き、ご支援をよろしくお願いいたします。時間を守る習慣を大切にしましょう。

15　お子さんは、決まった通学路を友達と一緒に帰っていますか。



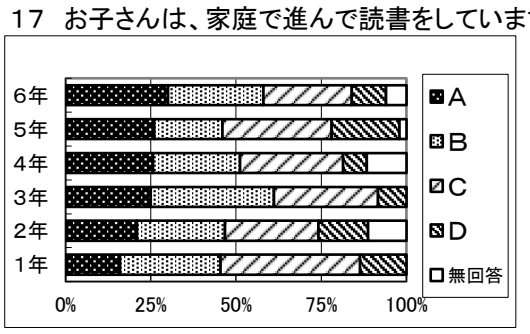
下校時は気の緩みも見られます。決められた通学路をきちんと通り、交通ルールを守るよう学校・家庭共に指導していきましょう。また、下校後の安全な生活にも、ご配慮をお願いいたします。

16　交通事故や不審者への注意について、いつも話をするよう努めていますか。



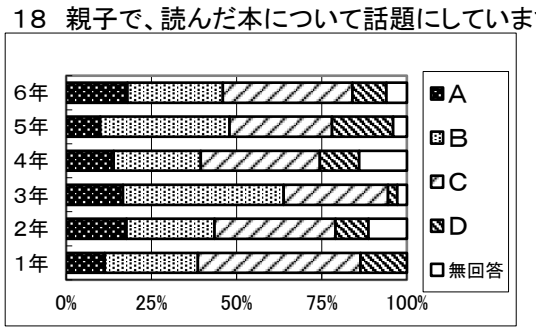
「事故ゼロ」を目標に取り組んでいます。メール配信での情報提供も行っています。不審者に遭遇した場合は直ちに110番通報をお願いします。もしもの時の対処法を、家庭でも話し合っておいてください。

17　お子さんは、家庭で進んで読書をしていますか。



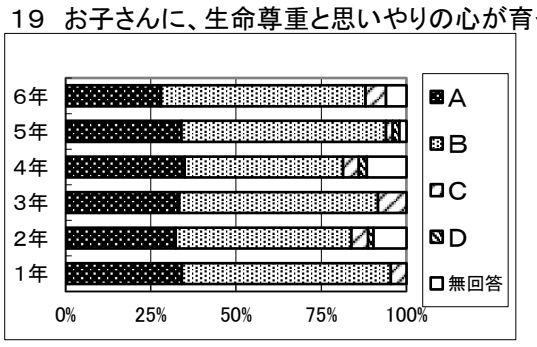
家庭での読書量も、ここ数年間で上昇しています。テレビやゲームの時間を制限するなど、本を読む環境づくりに努めましょう。ノーテレビ・ノーゲームデーはぜひ、読書をしてお過ごしください。

18　親子で、読んだ本について話題にしていますか。



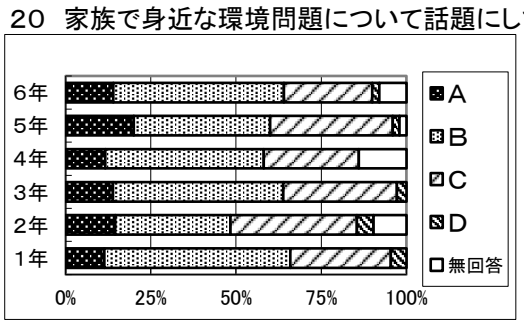
保護者のご協力をいただき夏期休業日中「親子読書」に取り組みました。テレビやインターネット・ゲームには、その魅力と同時に弊害もみられます。余暇の上手な過ごし方として、読書を推奨します。

19　お子さんに、生命尊重と思いやりの心が育っていると思いますか。



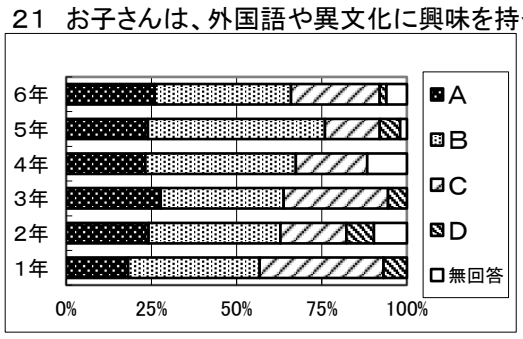
自分自身を大切にし、友達を大切にする。そのためにも、よい言葉づかいが必要です。言葉の乱れが生活の乱れにつながらないよう、優しく美しい言葉遣いを教えていきましょう。

20　家族で身近な環境問題について話題にしていますか。



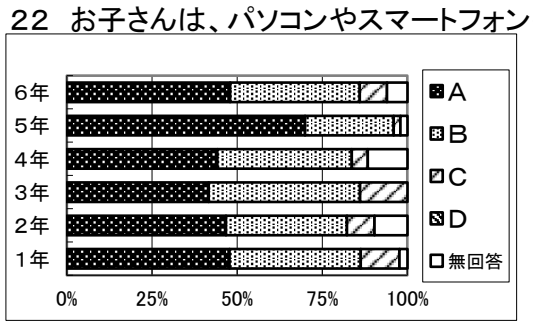
夏冬2回のエコライフの取組やペットボトルキャップの回収にご協力いただき、ありがとうございます。節電やリサイクルだけでなく、食べ物を残さないことなどについても、お子さんと話し合ってください。

21　お子さんは、外国語や異文化に興味を持っていますか。



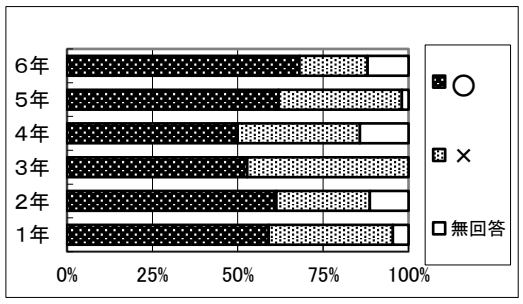
外国語活動サポーターやALTと共に英語教育の充実を図ります。低学年の放課後子ども教室でも英語活動への参加が多く見られました。今後も児童が興味を持って取り組めるように、指導法を工夫・改善します。

22　お子さんは、パソコンやスマートフォンに興味を持っていますか。



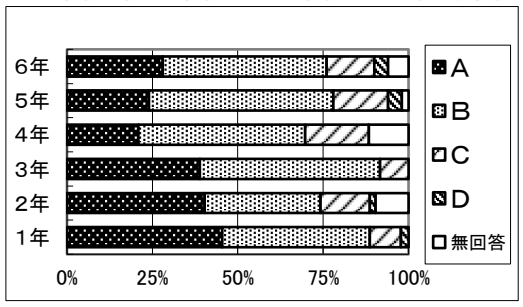
ICTを活用した授業を取り入れています。また、今後Teamsの利用が開始されます。
「ケータイスマホ利用共同宣言」の活用や各授業で情報モラルについて指導していきます。ご家庭でも細心の注意をお払いください。

23　ご自宅のパソコンは、お子さんが有害サイトを見られないように設定していますか。



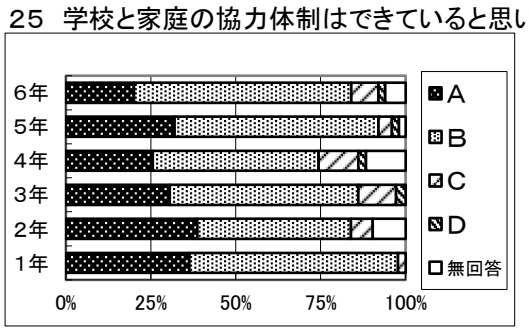
携帯電話・パソコンで、有害サイトを見られないように設定してください。SNS等 の利用についてもご指導ください。また、家庭用ゲーム機でもネットと同様の情報交換が可能です。ご確認をお願いいたします。

24　学校・学年・学級だより・学校のHP等で、学校や児童の情報を見ていますか。



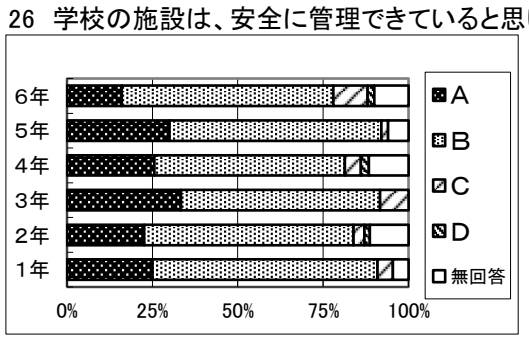
学校・学年・週予定表の定期的な配布物を、引き続きご覧ください。下校時刻や準備していただきたい持ち物についても各学年・学級の配布物にお知らせしています。また、学校HP・ブログもご覧いただき、学校の様子を知っておきましょう。

25　学校と家庭の協力体制はできていると思いますか。



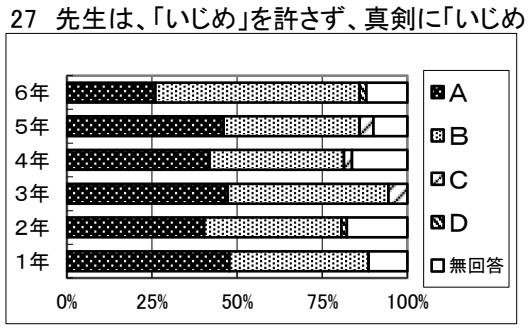
学校教育は、保護者の皆様の協力なしに充実・発展をすることはできません。子供たちの健やかな成長のために、子供の未来のために、学校と家庭が共に手をとりあって、指導・支援をしていきましょう。

26　学校の施設は、安全に管理できていると思いますか。



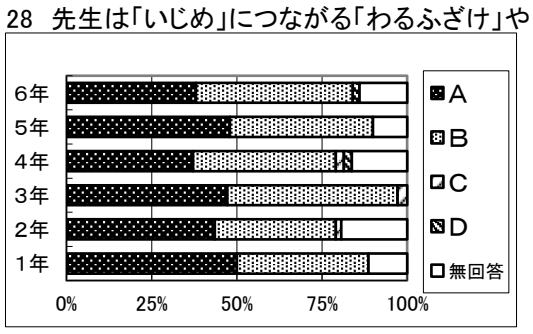
安心・安全な学校生活が送れるよう、定期的な安全点検を実施し、一層の安全管理に努めます。故障箇所については早期に対応し、施設の維持管理に努めていきます。なお、安全確保のために、学校に来校する際は、名札・マスクの着用、手指消毒のご協力をよろしくお願いいたします。

27　先生は、「いじめ」を許さず、真剣に「いじめ」をなくそうとしていますか。



いじめは、どの子にも起こり得るとの認識の下、学校や家庭・地域・関係機関が一体となって、いじめを許さない意識を醸成します。いじめを早期に発見して、直ちに対応し、徹底した根絶に取り組んでいます。

28　先生は「いじめ」につながる「わるふざけ」や「からかい」を注意していますか。



児童が明るく安心して学べる学校づくりを目指し、教職員研修も充実させています。家庭と連携し、いじめの未然防止、早期発見・早期解決に努めます。

保護者の皆様には、アンケートに御協力いただきましてありがとうございました。今年度はコロナ禍での学校生活となりましたが、皆様の御協力により、本校の児童は良好な学習・生活習慣を身につけていることがわかります。今後は、さらに基礎学力の定着、読書や体験活動による豊かな心の育成、健康な体の育成を目指し、家庭と連携して取り組んでまいります。この集計結果を、学校教育活動の充実・改善に有効に活用します。また、主体的・対話的で深い学びの実現と適正なカリキュラム・マネジメントを推進します。本校児童の未来のために、未来の子供のために、そして、生きる力を育むために、一層の御協力を、よろしくお願い申し上げます。